

平成 21 年 8 月 19 日
大阪ウォーターフロント開発(株)広報チーム
〒552-0022 大阪市港区海岸通 1
TEL06-6576-5529 FAX06-6576-5551
<http://www.kaiyukan.com/>
(担当：松原、齋部、西村、田井、鈴木)

親鳥になりかわり

海遊館でイワトビペンギンの遊泳訓練を実施します かわいい泳ぎをご覧ください

大阪市港区の海遊館では、平成 21 年 8 月 21 日(金)から 8 月 27 日(木)までの 7 日間、各日 14 時 00 分(8 月 21 日(金)は 10 時 00 分からも実施)から約 15 分間、海遊館エントランスビル 4 階「海遊館ギャラリー」で開催中の「発見！体験！ふれあいライブ館」の「ペンギンライブ」コーナーにて、イワトビペンギンの幼鳥(6 月 17 日資料提供済み)の遊泳訓練の様子を公開します。海遊館でペンギンの遊泳訓練の様子を公開するのは初めてです。

今回遊泳訓練を行うイワトビペンギンの幼鳥は、6 月 9 日(火)に誕生し、6 月 19 日(金)から「発見！体験！ふれあいライブ館」の「ペンギンライブ」コーナーで、温度や湿度が調節できる保育器にて人工飼育を行っていました。幼鳥は順調に成長しており、生後 42 日を過ぎてから幼鳥特有の綿羽も抜け始め、現在では、体長約 30cm、体重約 1.7kg まで成長しました。自然界ではそろそろ巣立ちの時期を迎えるため、「ペンギンライブ」コーナーのプールにて、飼育係員が親代わりとなって、幼鳥を水の中へと誘導する遊泳訓練を行います。最初は水に慣れさせることから始め、徐々に成鳥と同じレベルで泳げるようにします。

幼鳥は、遊泳訓練が無事終了すると、8 月 28 日(金)より、「ペンギンライブ」コーナーにて、成鳥と一緒に飼育展示する予定です。



イワトビペンギンの遊泳訓練の様子



イワトビペンギンの遊泳訓練の様子

1.【イワトビペンギンの幼鳥の遊泳訓練について】

開催日 平成 21 年 8 月 21 日（金）～8 月 27 日（木）
生き物の状況により中止または変更する場合があります。

開催時間 14：00～14：15
8 月 21 日（金）のみ、10：00～10：15 も実施します。

場 所 海遊館エントランスビル 4 階 海遊館ギャラリー
『発見！体験！ふれあいライブ館「ペンギンライブ」コーナー』

内 容 飼育係員が親代わりとなり、現在、
保育器で人工飼育中のイワトビ
ペンギンの幼鳥の遊泳訓練を実
施します。



現在の幼鳥の様子（8 月 17 日撮影）

幼鳥の大きさ 体長約 30cm、体重約 1.7kg
（8 月 17 日現在）

産 卵 日 平成 21 年 5 月 3 日（日・祝）
卵の長径 75.7mm、短径 52.1mm、
重量 114g

ふ 化 日 平成 21 年 6 月 9 日（火）13 時 00 分
（産卵後 37 日目）
ふ化時の大きさ：体長約 10cm、体重約 80g

2.【海遊館で飼育しているペンギンについて】

イワトビペンギン 英名：Rockhopper penguin 学名：*Eudyptes chrysocome*

ペンギン科。成長すると体長約 50cm になる。岩場をピョンピョンと飛び跳ねながら移動することからこの名前が付いた。目の上にある黄色い冠羽が特徴。沿岸の岩場の小石や雑草で巣を作り、メスは 1 回の繁殖で通常 2 個の卵を産む。ペンギンの中では気性がやや激しい。小魚やオキアミなどを食べる。

オウサマペンギン 英名King penguin 学名*Aptenodytes patagonicus*

ペンギン科。世界にいる 18 種のペンギンの中では、エンペラーペンギンに次いで 2 番目に大きく、成長すると体長約 90 cm になる。南極大陸周辺の島々に生息。海岸近くのゆるやかな斜面に繁殖地を持ち、メスは 1 回の繁殖で 1 個の卵を産む。巣は作らず、足の上に卵を置き、ダブダブの腹部の皮をすっぽりかぶせて抱卵する。小魚、オキアミ、イカなどを食べる。

ジェンツーペンギン 英名Gentoo penguin 学名*Pygoscelis papua*

ペンギン科。頭頂部にある白い斑紋が特徴。成長すると体長約 75 cmになる。南極半島や南極周辺の島々に生息。小高い丘に雑草や小枝、小石で浅いクレーター状の巣を作り、メスは1回の繁殖で通常2個の卵を産む。小魚、オキアミ、イカなどを食べる。

アデリーペンギン 英名：Adelie penguin 学名：*Pygoscelis adeliae*

ペンギン科。成長すると体長約 70 cmになる。頭部から背部にかけて黒く、目の周りがある白い輪（アイリング）が特徴。メスはオスに比べ、一回り小さいことが多い。南極大陸とその周辺の島々に生息。自然界での繁殖時期は10～11月で、丸い小石で周辺を囲んだ浅いクレーター状の巣を作り、メスは1回の繁殖で通常2個の卵を産む。小魚、オキアミなどを食べる。